

あかるいまち21

No.1232 2019年5月16日 組合員活動推進課 082-532-1264

	5月累計	2019年度
組合員ふやし	31人	151人
出資金ふやし	95万円	1048万円
純増	▲6万円	▲331万円

交渉の成果か、トイレの案内表示板が設置されました

「広島駅にトイレとベンチを」と「あれ、おかしいカード」が出されたことから、JRや南区役所に連絡、3月には区役所と直接交渉も行いました。その中で「せめてトイレの案内表示をわかりやすくできないか！」との声を届けたところ、おそらく他の方からの要望もあったのか、トイレの場所の案内が貼りだされていました。写真は二階自由通路の改札口の前にある柱に、改札口側と自由通路側に貼られていたものです。

ねばり強い運動が大事ですね。



西広島駅のバリアフリーの件で交渉

4月12日(金) 障害者と家族の暮らしと権利を守る広島連絡会(広障連)、生活と健康を守る会(生健会)、西広島駅にエレベーターを設置させる会、と当生協の社会保障平和委員会の6名が広島市役所本庁で、広島市道路交通局と、西広島駅のバリアフリー化に関して交渉しました。

車椅子を使用する人にとってトイレの設置場所や仕様は大変重要です。トイレやエレベーターの広さが大事であること、トイレを自由通路の2階にも造って欲しいこと(現段階では2階には改札口内しかトイレがない)、車椅子の方が右利き、左利きのどちらでも使えるトイレにして欲しいこと、エレベーターのボタンは車椅子の高さに設置して欲しいこと等、実際車椅子を使用している当事者でないとわからない状況も話され、説得力がある要求内容でした。



また、現時点でも駅の階段を上がって左へ曲がる際に手すりが無くなるので、足の不自由な人は不安であり、費用もかからないことから、早急につけて欲しい旨の要望も出されました。

細かな設計図ができる前に行政とこのような交渉ができ、大変有意義でありました。また、適宜このような交渉をもつことを確認しました。